

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-119931

(43)Date of publication of application : 28.04.1994

(51)Int.Cl.

H01M 8/04

H01M 8/10

(21)Application number : 04-264760

(71)Applicant : MITSUBISHI HEAVY IND LTD

(22)Date of filing : 02.10.1992

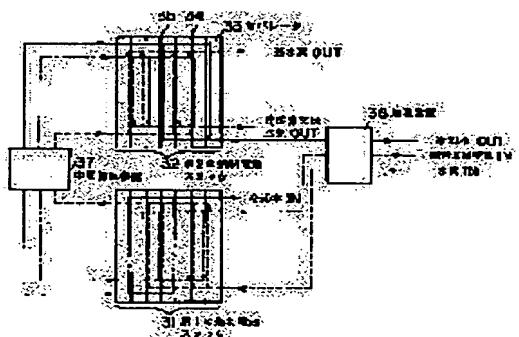
(72)Inventor : HASHIZAKI KATSUO

## (54) DEVICE OF HUMIDIFYING SYSTEM FOR FUEL CELL

## (57)Abstract:

PURPOSE: To maintain the water retaining condition of a high-polymer ion exchange film as an electrolyte and facilitate uniform distribution of hydrogen in each stack.

CONSTITUTION: A fuel cell humidifying system device has solid high-polymer electrolyte fuel cell stacks 31, 32 split in a plurality of fragments and humidifying devices 36, 37 located upstream of the stacks 31, 32 to humidify the fuel hydrogen, wherein the stacks 31, 32 are connected with the humidifying devices 36, 37, and humidification takes place little by little in the course of the fuel hydrogen being consumed.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

20.04.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3276175

[Date of registration]

08.02.2002

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-119931

(43)公開日 平成6年(1994)4月28日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

H O 1 M 8/04  
8/10

識別記号

**J**

庁内整理番号

**8821-4K**

FI

### 技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 8 頁)

(21)出願番号

特願平4-264760

(22)出願日

平成4年(1992)10月2日

(71)出願人 000006208

三菱重工業株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目5番1号

(72)発明者 橋崎 克雄

東京都千代田区丸の内二丁目5番1号 三

菱重工業株式会社内

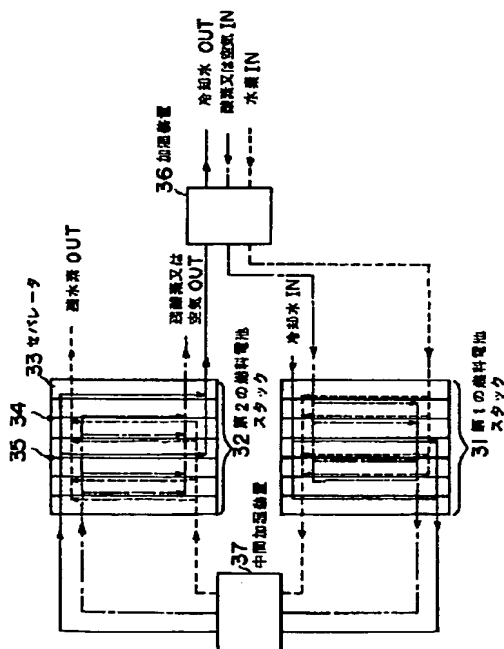
(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54)【発明の名称】 燃料電池の加湿システム装置

(57)【要約】

【目的】この発明は、電解質である高分子イオン交換膜の保水状態を維持できるとともに、水素の各スタックでの均等分配を容易に行なえることを主要な目的とする。

【構成】複数の分割された固体高分子電解質燃料電池スタック(31,32)と、前記各スタック(31,32)の上流側に設けられ、燃料水素を加湿する加湿装置(36,37)とを有し、前記各スタック(31,32)と複数の加湿装置(36,37)とを接続して燃料水素が消費されていく過程の中で逐次加湿していくことを特徴とする燃料電池の加湿システム装置。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の分割された固体高分子電解質燃料電池スタックと、前記各スタックの上流側に設けられ、燃料水素を加湿する加湿装置とを有し、前記各スタックと複数の加湿装置とを接続して燃料水素が消費されていく過程の中で逐次加湿していくことを特徴とする燃料電池の加湿システム装置。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、固体高分子電解質燃料電池の燃料電池スタックと加湿装置とからなる燃料電池の加湿システム装置に関する。

【0002】

【従来の技術】周知の如く、固体高分子電解質燃料電池の発電原理は図1に示す通りである。電極接合体1は、電解質（高分子イオン交換膜）2としてフッ素樹脂系の高分子イオン交換膜（例えば、スルホン酸基を持つフッ素樹脂系イオン交換膜）を用い、これを中央にして両面に例えば白金からなる触媒電極（負極）3、触媒電極（陽極）4を付着させ、更にその両面をポーラスなカーボン電極（負極）5、カーボン電極（陽極）6でサンドイッチ状に挟み重ねた構成となっている。

【0003】セパレータ7の流通溝により燃料電池本体内に導入される水素は、電解質2である高分子イオン交換膜の水素イオン透過性を持たせるために、通常、導入前に燃料電池の運転温度付近における飽和水蒸気分圧相当の水蒸気を含ませ、即ち加湿させて導入される。酸素又は空気についても、同様の理由から加湿させることがある。

【0004】電極接合体1に供給された水素は、触媒電極（負極）3上で水素イオン化され、水素イオンは電解質2中で $H^+ \cdot xH_2O$ として触媒電極（陽極）4側へ向って移動する。この時、水素イオンはx個の $H_2O$ を伴って負極から陽極へ移動するため、水素と共に導入された水蒸気は水素の流路方向に沿って徐々に陽極側へ透過し乾きガスに近づいていくことになる。

【0005】カーボン電極（陽極）6へ達した水素イオンは、酸化剤として同じく電池本体内に導入された酸素と反応して水を生成し、未反応酸素と共に排出される。同様に、水素イオン化されなかった未反応水素も燃料電池本体から排出される。

【0006】また、従来の固体高分子電解質燃料電池の加湿システム装置は、図2に示す通りである。同図は、燃料である水素、酸化剤である酸素（又は空気）、両者を加湿して燃料電池へ導入した例を示す。ここで、加湿水源としては、燃料電池の排熱を回収し、温水となった冷却水を用いている。燃料電池スタック11へ導入される水素、酸素（又は空気）は加湿装置12で燃料電池運転温度付近の飽和水蒸気分圧相当の水蒸気を含み、即ち加湿させられる。加湿させられた水素、酸素（又は空気）

は、燃料電池スタック11内のすべての電極接合体挿入面13へセパレータ14の流路溝を通じて分配されるようになっている。なお、図中の15は、冷却水面を示す。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の加湿システム装置は以下の課題を有する。

【0008】(1) 燃料となる水素の加湿を燃料電池へ導入する入口でのみ行なうため、燃料電池内へ導入される水蒸気量が、加湿温度における飽和水蒸気分圧相当の水蒸気量に限定されてしまう。従って、電解質面積あるいは電極接合体面積を大きくしようとする場合、水素を加湿していた水蒸気は $H^+ \cdot xH_2O$ の形で徐々に酸素又は空気側に透過し、水素の流路溝終末近傍では水蒸気圧が低くなって乾きガスに近づき、電解質である高分子イオン交換膜の保水状態を維持できなくなる。

【0009】(2) 燃料である水素が一度に全電極接合体に分配供給されるため、電極接合体へ供給される水素のガス流速が極めて小さくなり、電極接合体面積が多い場合、流量分配を均等にすることが極めて困難である。

【0010】この発明はこうした事情を考慮してなされたもので、電解質である高分子イオン交換膜の保水状態を維持できるとともに、電極接合体へ供給される水素のガス流速を大きくして水素の各スタックでの均等分配を容易に行なえる燃料電池の加湿システム装置を提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】この発明は、複数の分割された固体高分子電解質燃料電池スタックと、前記各スタックの上流側に設けられ、燃料水素を加湿する加湿装置とを有し、前記各スタックと複数の加湿装置とを接続して燃料水素が消費されていく過程の中で逐次加湿していくことを特徴とする燃料電池の加湿システム装置である。

【0012】図3は、この発明に係る燃料電池の加湿システム装置の概略構成図を示す。図中の21、22、23は複数の分割された燃料電池スタックであり、これらの燃料電池スタック21～23の上流側には各スタック21～23へ導入される燃料水素を逐次加湿できるよう加湿装置24、加湿装置（中間）25、26が夫々配置されている。なお、酸化剤である酸素又は空気も必要に応じ加湿することもある。ここで、加湿装置24～26の湿水源としては、各スタックの排冷却水を逐次利用する全スタックを冷却し終った排冷却水を利用することが考えられる。

【0013】

【作用】上記の構成において、固体高分子電解質燃料電池のスタックを分割し、あるいは直列に接続し、各スタックへ燃料を水素を逐次加湿しながら導入することにより、

【0014】(1) 電解質である高分子イオン膜を $H^+ \cdot xH_2O$ の形で透過する水蒸気分を常に補うことが可能

となり、水素のセバレータ上の流路溝終末近傍で水蒸気圧が確保できる。即ち、電解質である高分子イオン交換膜の保水状態を維持できるようになる。

【0015】(2) 各電極接合体に分配供給されるガス流速を分配数が少なくことで大きく採ることが可能となり、水素の各スタックでの均等分配が容易に行なえるようになる。

【0016】

【実施例】以下、この発明の一実施例を図面を参照して説明する。いずれの実施例の場合も、固体高分子電解質燃料電池スタックを分割あるいは直列に燃料である水素ラインを接続し、各スタック上流に加湿装置を設けた例を示す。

(実施例1)

【0017】図4を参照する。図中の31は第1の燃料電池スタックを示し、32は第2の燃料電池スタックを示す。これら燃料電池スタックは積層された複数のセバレータ33を有し、34は電極接合体挿入面を示し、35は冷却水面を示す。前記第1の燃料電池スタック31の上流側には加湿装置36が配置され、第2の燃料電池スタック32の上流側には中間加湿装置37が配置されている。

【0018】こうした構成の燃料電池の加湿システム装置において、第1の燃料電池スタック31に供給される水素及び酸素(又は空気)は、第2の燃料電池スタック32より排出される湿水となった冷却水により加湿され、第1の燃料電池スタック31に導入される。更に、第1の燃料電池スタック31より排出される残った水素及び酸素(又は空気)は、第1の燃料電池スタック31より排出される湿水となった冷却水により加湿され、第2の燃料電池スタック32に導入される。

(実施例2) 図5を参照する。但し、図4と同部材は同符号を付して説明を省略する。

【0019】第1の燃料電池スタック31に供給される水素及び酸素(又は空気)は、第1の燃料電池スタック31及び第2の燃料電池スタック32を冷却し排出される湿水となった冷却水により加湿され、第1の燃料電池スタック31に導入される。更に、第1の燃料電池スタック31より排出される残った水素及び酸素(又は空気)は、第1の燃料電池スタック31及び第2の燃料電池スタック32を冷却し排出される湿水となった冷却水により加湿され、第2の燃料電池スタック32に導入される。

(実施例3) 図6を参照する。但し、図4と同部材は同符号を付して説明を省略する。この実施例3は、図4において酸化剤である酸素又は空気を各スタックに初めか

ら分岐して供給するようにしたことを要旨とする。

(実施例4) 図7を参照する。但し、図4と同部材は同符号を付して説明を省略する。この実施例4は、図5において酸化剤である酸素又は空気を各スタックに初めから分岐して供給するようにしたことを要旨とする。

【0020】このように、上記実施例によれば、第1燃料電池スタック31、第2の燃料電池スタック32を分割、あるいは直列に接続し、燃料である水素のラインの各スタックの上流側に加湿装置36、中間加湿装置37を設けることにより、以下に述べる利点を有する。

【0021】(1) 電解質である高分子イオン交換膜を透過して酸素又は空気側へ移動してしまう水蒸気を、各加湿装置36で捕うことが可能となる。従って、高分子イオン交換膜をセバレータ上の水素流路溝に沿って全域にわたり十分なる保水状態に維持することができる。

【0022】(2) 各電極接合体への分配数が少なくなるため、セバレータ上の水素流路溝内の水素ガス流速を大きく取ることが可能となる。従って、水素の各スタック内における電極接合体への均等分配を行ないやすくなる。

【0023】

【発明の効果】以上詳述したようにこの発明によれば、電解質である高分子イオン交換膜の保水状態を維持できるとともに、電極接合体へ供給される水素のガス流速を大きくして水素の各スタックでの均等分配を容易に行なえる燃料電池の加湿システム装置を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】固体高分子電解質燃料電池の発電原理を示す説明図。

30 【図2】従来の燃料電池の加湿システム装置の説明図。

【図3】この発明に係る燃料電池の加湿システム装置の概略構成図。

【図4】この発明の実施例1に係る燃料電池の加湿システム装置の説明図。

【図5】この発明の実施例2に係る燃料電池の加湿システム装置の説明図。

【図6】この発明の実施例3に係る燃料電池の加湿システム装置の説明図。

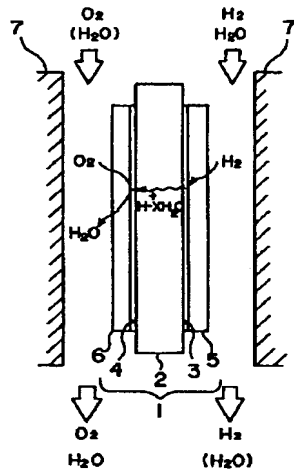
40 【図7】この発明の実施例4に係る燃料電池の加湿システム装置の説明図。

【符号の説明】

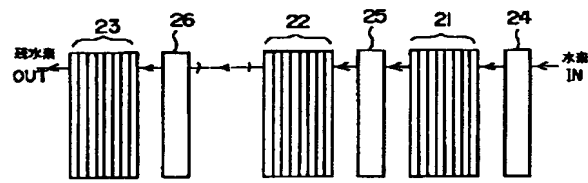
31…第1の燃料電池スタック、 32…第2の燃料電池スタック、 33…セバレータ、

36…加湿装置、 37…中間加湿装置。

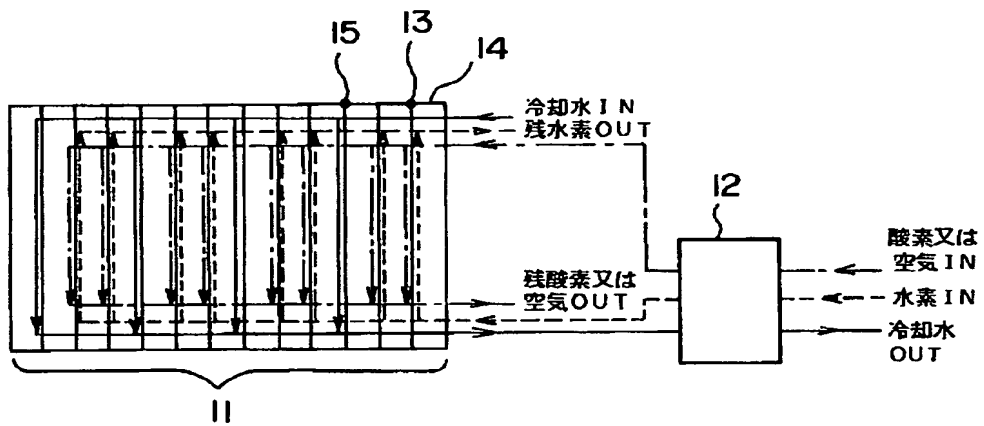
【図1】



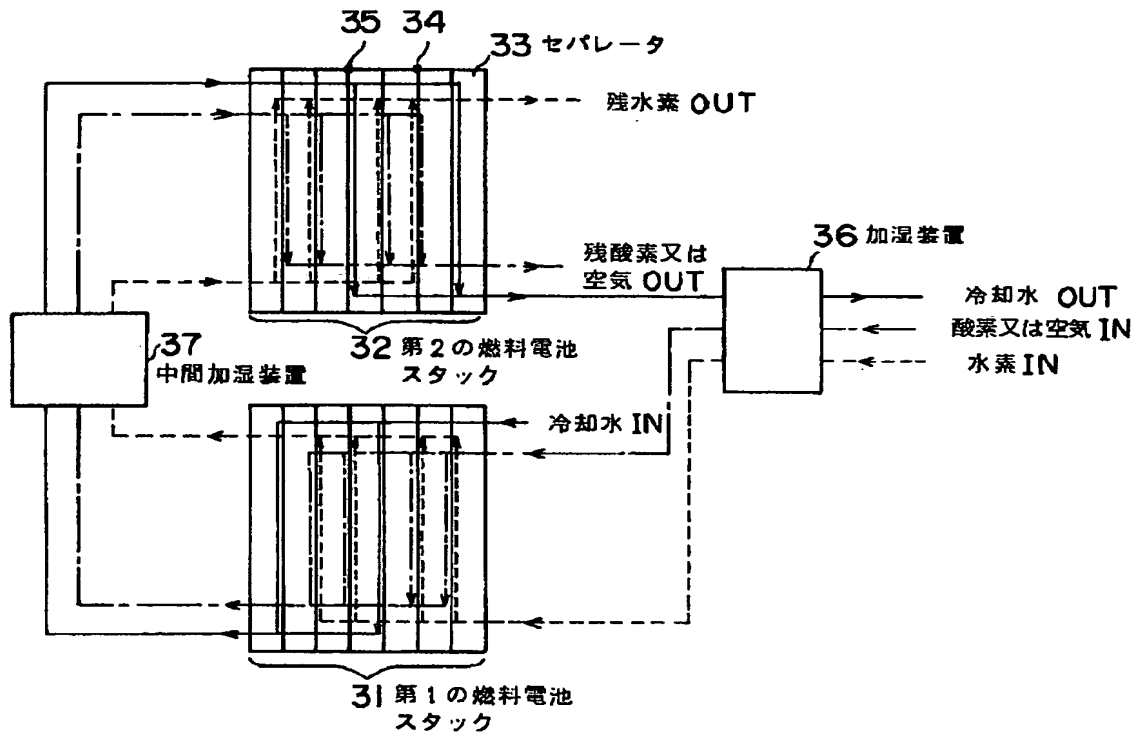
【図3】



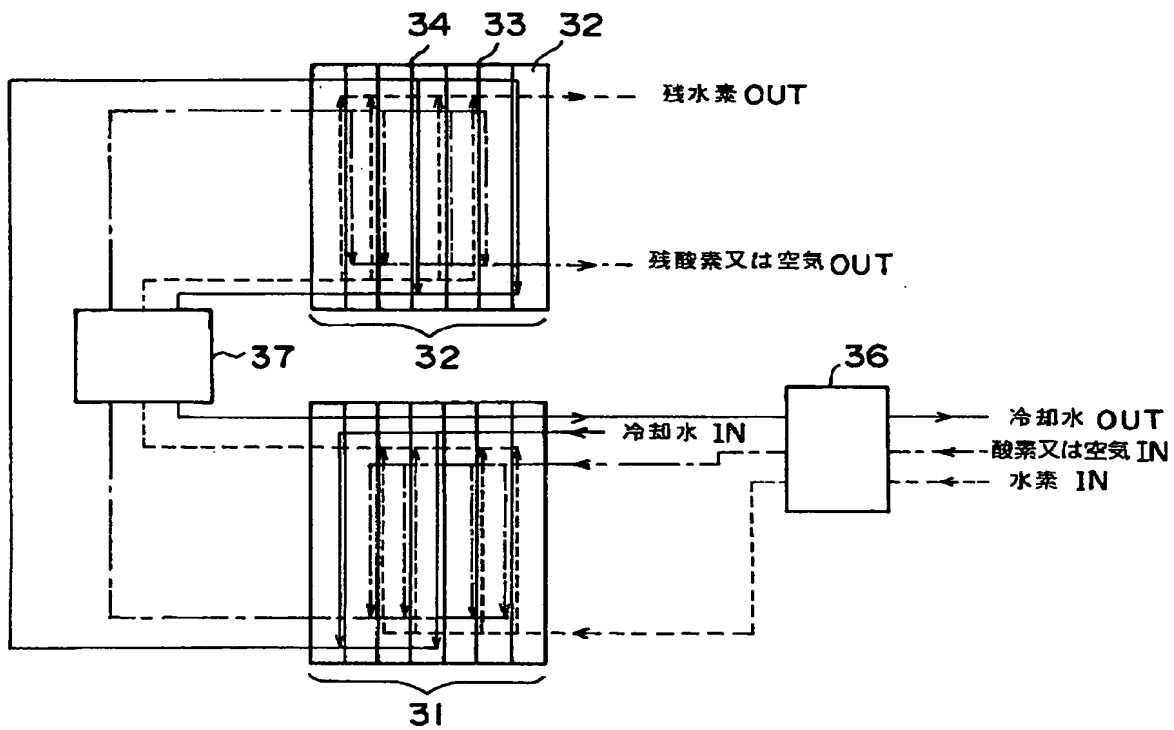
【図2】



【図4】

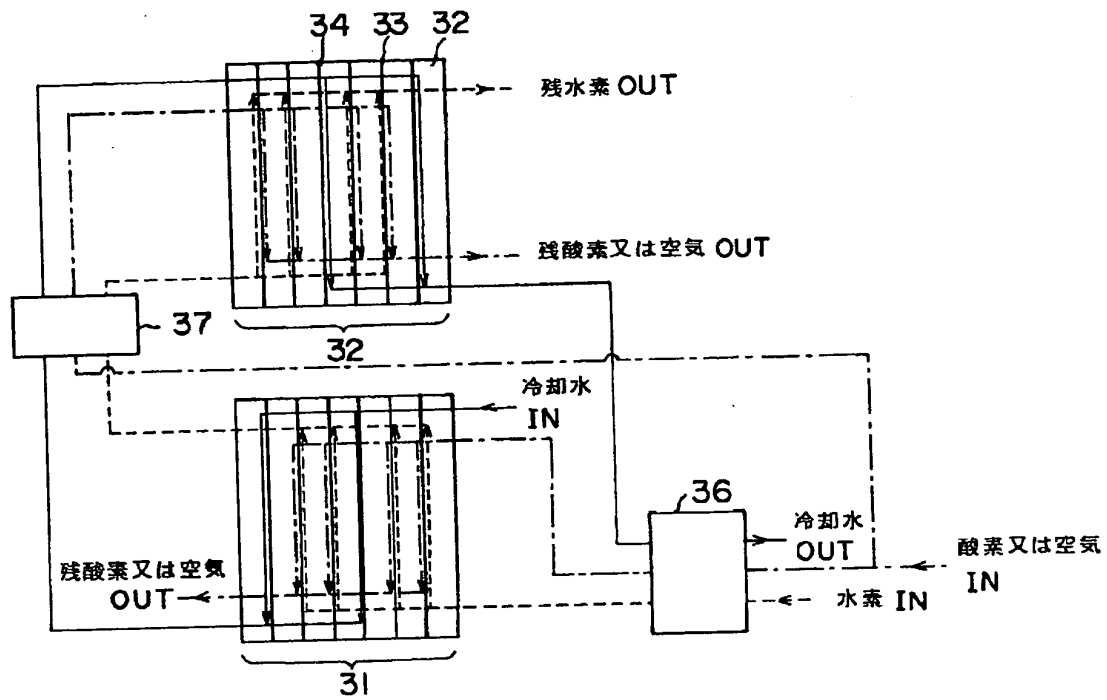


【図5】

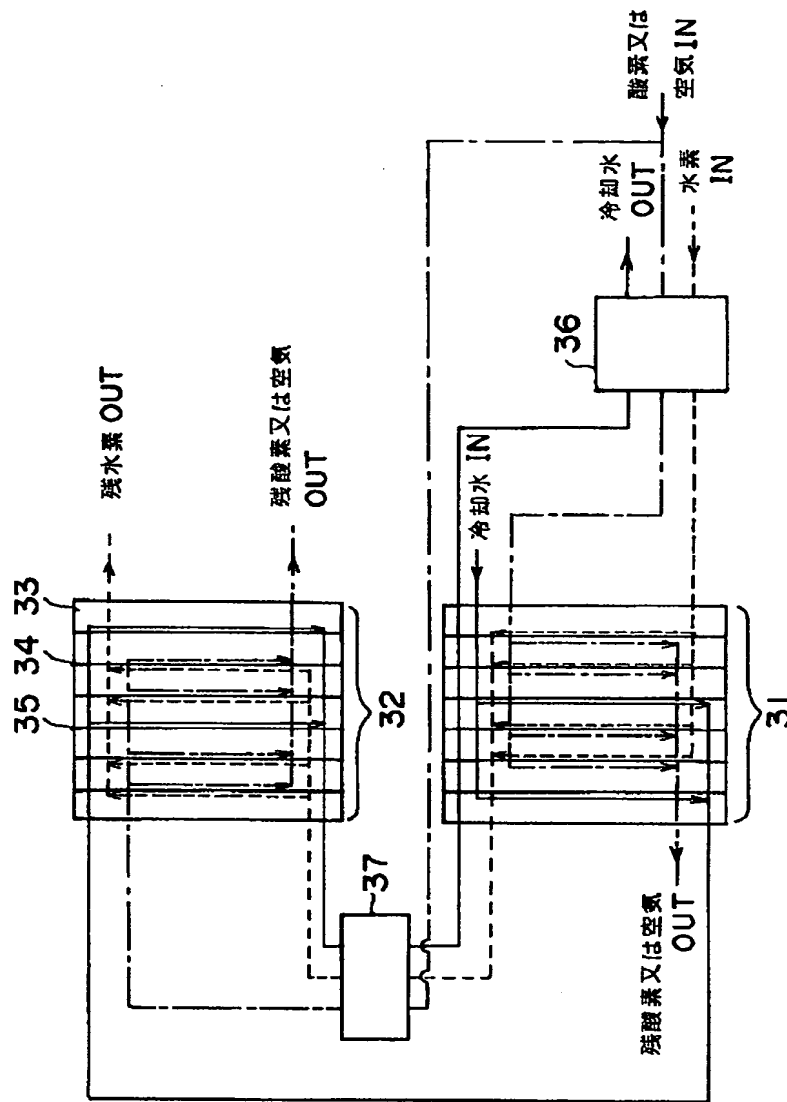




【図6】



【図7】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☒ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**